

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	※説明内容は別紙資料のとおり。以下、質疑応答の部分を記載。 〈テーマ１：観光の振興〉 ・みどりの村の改修内容（サウナ棟・宿泊棟・キャンプ場拡充・ペット対応オートサイト）を確認した。現在の指定管理者が完全民間に変わることによって情報発信・サービス内容が刷新される見込みであることを確認した。 ・みどりの村の近くに飲食や買い物ができるスペースなどを設置し、道の駅的な機能（集客・情報発信）を持つ施設があれば、みどりの村エリアへの誘客強化につながるのでは。 →どのような機能・施設が必要かを含め手法を研究している。 ・道の駅の新設予定はなく、現在の陶芸館・道の駅の改修・機能強化を基本とすることを確認した。 ・アドベンチャートラベルなどといったアウトドア型の観光を推進するにあたり、ガイドを配置するとの説明があったが、現在、国では「インタープリテーション」といった活動を推進する動きがある。地域のよさ、魅力を訪れた方や次世代にわかりやすく伝えるための共通の説明書のようなもの。国が推進しているということもあるので、ぜひ観光振興のなかに入れることを検討してほしい。 〈テーマ２：女満別空港関係〉 ・現在、レンタカーを利用している人が多いと思うので、空港までのバスなど公共交通はいらないのでは？とも考えられる。空港よりも、峠までの交通手段の方がニーズがあるのではないか。 〈テーマ３：地域特産品の振興〉 ・美幌町の特産品としてすぐに思い浮かぶのがメープルシロップである。結構有名だと思っているが、それでもどこで売っているのかとかあまり聞かない。町とタイアップして何かしているのか。 →販売やふるさと納税返礼品として出しているなど、いろいろ連携している。ただ、量を多く出せないのが課題である。 ・メープルシロップについては、後継者の問題も考えないといけないと思う。また、PRについては、SNSやHPを活用し戦略を練ってやらなければならないと思う。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	・司厨士協会について、他の施策では大学や研究機関などの連携が記載されているが、それらと一緒に考えるのではなく、司厨士協会との施策は1本立てして進める考えなのか。ある方から聞いた話だが、司厨士協会との取組について、実現性から言うと非常に懐疑的な意見を聞いた。1つの施策として進めるのは難しいのではと考えるがどうか。（関連する主な取り組みの中に入れては？） →持ち帰り検討させていただく。